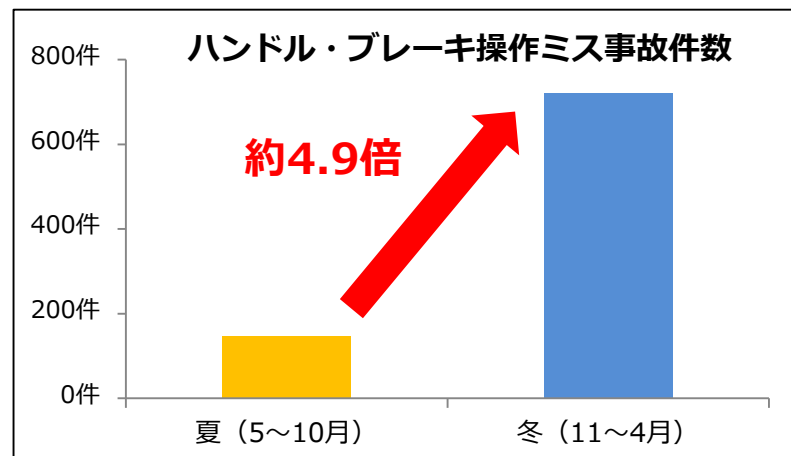


冬期の高速道路の交通事故・降雪状況

別紙2

(1)交通事故状況



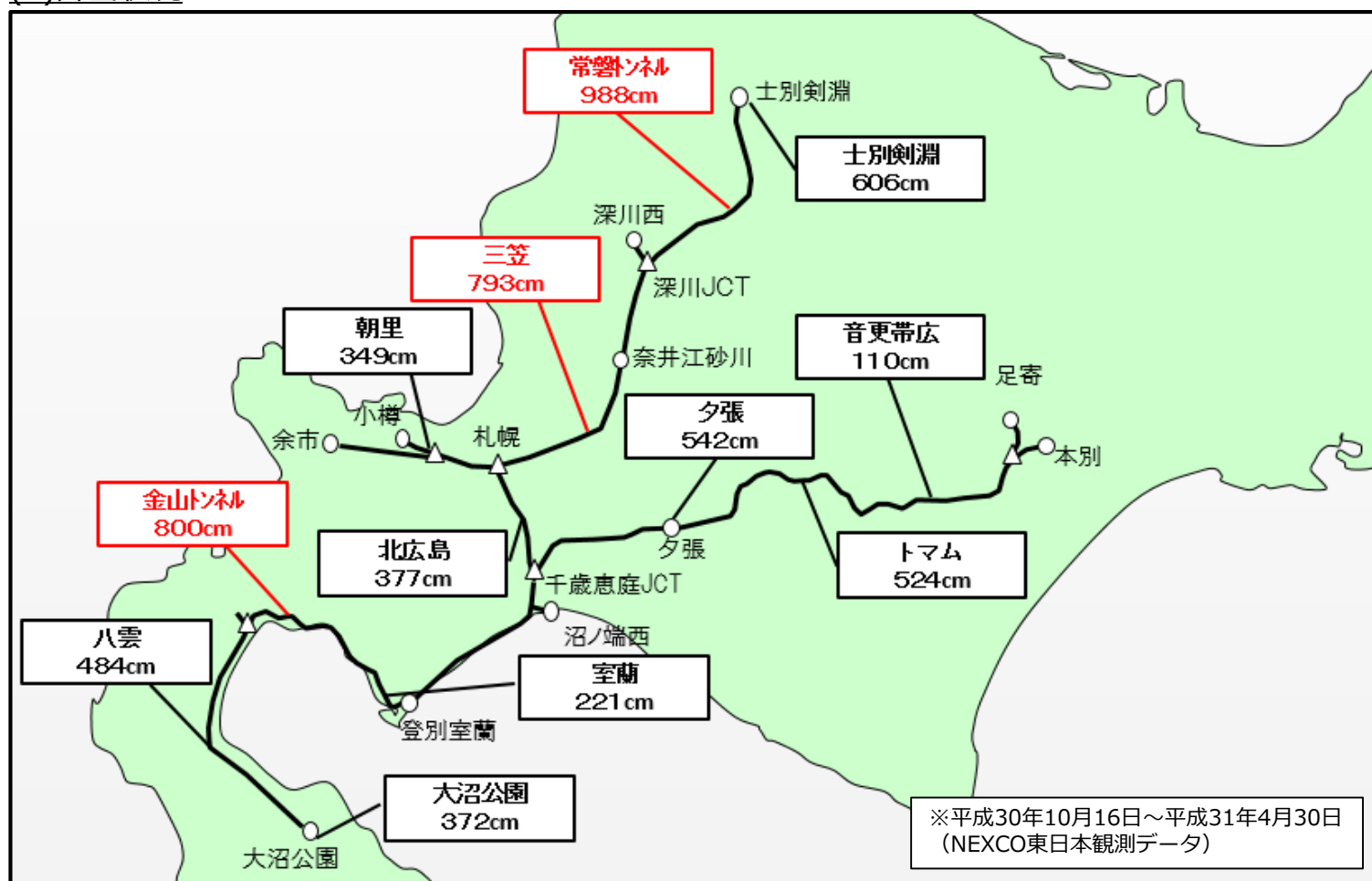
※対象期間：平成30年5月～平成31年4月、事故件数：当社調べ

冬は夏に比べて、その路面状況からハンドル・ブレーキ操作ミスによる事故が約4.9倍と増加しています。

夏と同じ感覚でスピード・ハンドリング・ブレーキの操作は非常に危険ですので、細心の注意を払い走行をお願いします。

また、冬用タイヤ装着など早めの冬装備をお願いします。

(2)降雪状況



①昨シーズンの北海道内の高速道路の累計平均降雪量は、約400cmでした。また、特に多かった地域の累計平均降雪量は下記のとおりです。

- 1位 常磐トンネル 988cm (道央道 深川IC～旭川鷹栖IC)
- 2位 金山トンネル 800cm (道央道 豊浦IC～黒松内JCT)
- 3位 三笠IC 793cm (道央道)

②昨シーズンの雪氷作業にあたった作業車の総走行距離は地球約7.6周分でした(約30.4万km)。
NEXCO東日本では、24時間体制でお客さまの安全をお守りするため、除雪作業に取り組んでいます。

